

# 白根新潟間のバス増便を

現在、白根発六時五十五分の臨時便を出し、車両を大型化するなど、混雑の緩和に努めています。



## Q

私の家族はバスで新潟まで通っています。各家庭とも一家に車二台の時代になっていますが、やはり学生やお年寄り、運転免許のない人にとってはバスは唯一の交通機関です。現在、白根新潟間のバスは、昼間の利用者は少ないとはいえ、朝夕の通勤、通学時間帯はすし詰め状態です。

バス会社に見ればこの路線も赤字なのでしょうが、公共交通機関の意味からも、朝夕一便でもよいので、増便をお願いしたいと思います。

(大通南・金子靖則・32歳)

## A

Hごろ新潟交通をご利用いただきまして、ありがとうございます。

当社ではお客様のニーズに合ったバスの運行を行うため、毎年全路線について動態調査を行って、運行時間などの見直しを行っています。

白根新潟間の朝の便についてはご指摘のとおり、通勤、通学の利用者が多いため、平日に臨時便(白根発六時五十五分)を出して対応しています。また、利用者の集中する時間帯の車両を一年ほど前から大型化しました。七十人定員のものから八十五人定員のものにし、混雑の緩和に努めているところであります。

当社ではご指摘をいただいております。当該地域の動態調査を行いました。その結果、最も混雑が予想される月曜日の朝の便で、乗車人数は約六十人ほどでした。定員八十五人のバスですから、これ以上の増便は数字的に難しいものと

思われます。

バスの乗車率については天候をはじめ、さまざまな要因が関係するため、必ずしも一定ではありません。これから冬季に向かい、一層の混雑感が生じると思われるのが、奥に詰めていただくなど、お客様のご協力をお願いいたします。

なお、大野新潟間のバス路線を、大通南まで延長していただきたいというご要望も承っております。この点についても検討させていただきます。また、大野大橋の交通渋滞により、定時運行が確保できないため、当面の実行は困難であると考えております。

当社では今後ともお客様のご要望に沿ったバスの運行を心掛けてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(新潟交通(株)白根営業所)

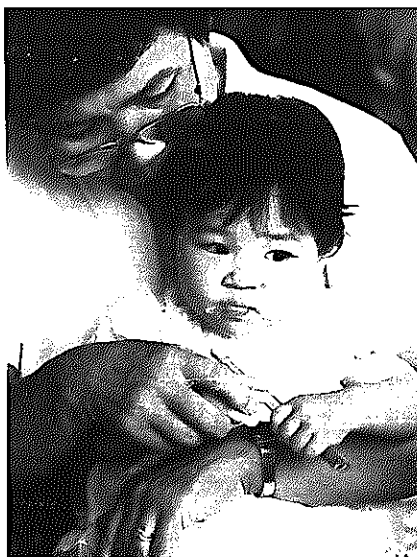
# 広がれ健康家族 ③〇 赤ちゃんの心に栄養を

保健センター(☎373・4300)

人間の人間らしい健やかな心の基礎は、赤ちゃん時代に育てられるといわれます。

「母子相互作用」という言葉を存じでしょうか。赤ちゃんの心を育てるお母さんの作用は、お母さんがただ一方的に働き掛けをしているのではなく、赤ちゃんの方からもお母さんに働き掛けしているのです。

赤ちゃんが泣けばお母さんは駆け付け、おっぱいを飲ませます。おっぱいを口に含むと赤ちゃんは泣きやみ、落ち着いてお母さんの顔をじつと見ます。それにこたえて、お母さんがニコリ笑う。こういう相互のかわり合いが、



絶えず行われているのです。

このような母と子の触れ合いの中から、赤ちゃんに愛着という心がつけられ、それを基礎として豊かな情緒が育っていきます。そのためには、お母さんの豊かな情緒的な働き掛けが、第一に必要です。例えば空腹には、おっぱいを含ませると同時に、「よしよし、すぐ

あげますよ」「ほら、おいしいね」という言葉や表情の働き掛けをすることです。

また、心を育てるためにはお父さんやおじいちゃん、おばあちゃん、兄弟など、それぞれに大切な役割があります。家族みんなで赤ちゃんの心の発達に必要な働き掛けをしていきましょう。

# 広報クイズ ⑤7

## 問題

①10月29日、一日消防署員に就任した女性は何人でしょう?

- A 13人 B 14人 C 15人 (ヒント=5ページ)

②庄瀬小学校郷土史クラブの子供たちが造った堅穴式住居は、いつの時代のものでしょうか?

- A 縄文時代 B 弥生時代 C 江戸時代 (ヒント=7ページ)

③11月7日、青年の祭典で行われた過酷な三輪車耐久レース。レース時間は何時間だったでしょう?

- A 1時間 B 3時間 C 5時間 (ヒント=7ページ)

## 応募の方法

はがきに答えの記号、住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます。□あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係 □締め切り 12月15日(必着) □抽選 12月16日(市役所に来られた人に抽選していただきます) □発表 1月1日号

## 当選おめでとう (敬称略)

- 【図書券】▶内藤郁(中塩俵)▶風間秀房(能登)▶田巻踊子(下八枚)▶相田ヨキ(北田中)▶小山康徳(諏訪木) 【自然科学館招待券】▶早藤恵子(白井)▶柿崎智之(魚町)▶小山友美(諏訪木)

## 応募のはがきから

○産業まつりはとても楽しかった。試食もあって、心も体も温まる思いでした(Y) ○広報しろね編集員のような仕事があった(K) ○料理の紹介やビューティコーナーがあれば、若い読者が増えるのでは(Y)



抽選は11月22日に、市役所で鈴木志摩子さん(和泉)にお願いしました。先月号の正解は①C②B③Cです。応募総数は41通で、全問正解は40通でした。

# 市立図書館 今月の受け入れ図書

▶開館時間 ※第2・4月曜、祝日は休館 月・水・木・土・日曜日 午前9時~午後5時 火・金曜日 午前9時~午後8時 ▶貸し出し 1人1回4冊以内で、2週間借りられます。

## 今月の一冊

「淋しい狩人」 宮部みゆき著 電車の網棚に忘れられた一冊の文庫本。父親の遺品から出てきた数冊の同じ本。事件はいつも本から始まる。東京下町の古書店を舞台に、本に絡む人間模様を描く連作ミステリー。



# あなたも 風博士 ⑥米沢風

このコーナーでは、来年度の完成を目指して建設中の「しろね大風と歴史の館」に展示される国内外の風の数々を紹介しています。このコーナーを讀めばあなたも風博士。今回は山形県の「米沢風」です。

山形県は今も多くの種類の風が作られています。かつては、どこでもたくさんの風が作られ、揚げられていました。それが、環境の変化で、ほとんどの風が消えてしまいました。残念でなりません。

米沢風の作者、原広吉は一九七四年、七十九歳で亡くなりました。広吉の死とともに米沢風の灯も消えました。



廣吉が亡くなって二十年、偶然のことから、宮城県の上野物会社の倉庫の中に、ほこりをかぶって眠っている米沢風を発見することができました。幸運な出会いでした。

そして遺族からも廣吉が残した多くの下絵や遺作を提供してもらい、米沢風の資料を豊富に集めることができました。細い線をきつちりと引いて、見事な絵に仕上げ、華やかな色彩を入れて、伝統的な米沢風を作った最後の名人でした。

日本の風師は絵も堪能であることが求められます。風師イコイル風絵師であるわけ、風の評価が、絵の力量によって左右されることもしばしばです。このことが後継者の育たない大きな理由の一つにもなっています。鬼籍の廣吉は、あの世で後継者のいないことを無念に思っているかもしれません。

(文 風収集委員会・田村和雄)